

里都まちスポーツプロジェクト

1. 今年度のスケジュール

月	部会	スポーツイベント	総合型地域スポーツクラブ
4月	第1回部会 (4/24)		・第4回中井町の「地域スポーツ」を考える勉強会(4/17)
5月			・第5回中井町の「地域スポーツ」を考える勉強会(5/16)
6月		・第1回里都まち♡なかいノルディック・ウォーク教室(「なかい健康スポ・レク祭」同時開催)(6/3)	・「なかい健康スポ・レク祭」での啓発活動(6/3) ・第6回中井町の「地域スポーツ」を考える勉強会(6/26)
7月			
8月			
9月			
10月		・「美・緑なかいフェスティバル」において、ノルディック・ウォークの体験エリアを設置(10/14)	
11月	第2回部会		
12月			
1月	第3回部会		
2月		・第2回里都まち♡なかいノルディック・ウォーク教室 ※ひと月の間に3日間程度連続して教室を開催した後にコースに出る予定(教室:2/8,2/15,2/22、町内コース:3/17)	
3月	第4回部会		

2. 里都まちスポーツプロジェクト部会

第1回 4月24日 開催

- 議題
1. 里都まち♥なかいノルディック・ウォークについて
 2. 総合型地域スポーツクラブについて
 3. 里都まちスポーツイベントについて

■主な意見

- ・ノルディック・ウォークは一時的に実施する方はいるものの定着させることが難しい。イベントではなく定期的な実施する機会を作れるとよい。親子でできることをアピールするのもよいのではないかと。
- ・総合型地域スポーツクラブの創設に向けてプレ事業を行う場合には、今後の取組みに参加をしてもらえる新しい方の発掘が大事になる。
- ・プレ事業は他のスポーツイベントや里都まち交流拠点での取組みと連携させていくべき。また、何回か試験的にやってみて、最後に大きなイベントをやるのもよいのではないかと。
- ・スポーツイベントについては、交付金がなくなったら中断するというパターンにならないように、継続していける形を模索しなければならないし、イベントの実施主体も考えていかなければならない。

第2回

- 議題（予定）
1. 里都まち♥なかいノルディック・ウォークについて
 2. 総合型地域スポーツクラブについて
(地域スポーツを考える勉強会の進捗状況について)
 3. 里都まちスポーツイベントについて

3. 中井町の「地域スポーツ」を考える勉強会 ～総合型地域スポーツクラブ設立に向けて～ (昨年度に第1回～第3回を開催。出席者は町内のスポーツ・文化団体関係者。)

第4回 4月17日(火) 19:00～21:00 (参加者:10名)

テーマ:「プレイベントの企画・運営について」

6月3日に開催する「なかい健康スポ・レク祭」でプレイベントを開催することとし、具体的な活動内容を検討。

総合型地域スポーツクラブの概要や勉強会の取組み内容などを広くPRするために、プレイベントで何ができるかを話し合った。

その結果、PRブースを設けて、総合型地域スポーツクラブの趣旨・目的が分かるものの掲示、存在を認知していただくために共通の腕章を付けることなどを決めた。

第5回 5月16日(水) 19:00~21:00 (参加者:5名)

テーマ:「なかい健康スポ・レク祭での啓発活動等について」

総合型地域スポーツクラブの創設を目指すため、勉強会のメンバーを中心に「里都まちぷらっとスポーツ」という組織をつくり活動することとした。

また、イベント当日に配布・掲示する資料の内容確認を行った。より多くの方に興味を持っていただくために、自分のスポーツタイプを診断するチャートを作成した。チャートに興味を持った方には、アンケートに協力していただき、回答していただいた方には、里都まちぷらっとスポーツのバッジを渡した。



第6回 6月26日(火) 19:00~21:00 (参加者:12名)

テーマ:「今後の取組みについて」

イベントの際にとったアンケート結果を確認。里都まちぷらっとスポーツの活動に賛同してくれた方、スポーツに高い関心のある方を次回の勉強会に招待するなどして、活動の輪を広げていく。

今後の里都まちぷらっとスポーツの活動に関して、年度内には仮クラブでもよいので、何かしら形に残すことを目標とした。それを達成するためにも、いつまでに何をやるのかという点を明確にして取り組んでいくこととした。

また、次回のイベントのアイデア出しの中で、「ロゲイニング」の開催可能性について協議。ノウハウがないため、鎌倉市で実施している「かまくRUN」というロゲイニングの関係者を呼んで、レクチャーしてもらえるように調整してはどうかというアイデアが出た。

※「里都まちぷらっとスポーツ」のホームページとフェイスブックを立ち上げ活動を周知している。町が発行する魅力創生ニュースにも掲載し、参加者を募った。

4. 里都まち♥なかいノルディック・ウォーク教室

第1回 6月3日 開催

平成28年度より実施しているノルディック・ウォーク教室の今年度1回目を「なかい健康スポ・レク祭」と一緒に開催。公認指導員を2名招いて、1日に3回教室を実施。会場である中井中央公園「星槎中井スタジアム（野球場）」の中をウォーキングし、ノルディック・ウォークの正しいやり方を参加者に指導するとともに、会場内を歩くことで他のスポーツ・レクリエーションを行っている方へノルディック・ウォークの存在をアピールした。

- | | |
|-------------------|---------|
| ● 1回目：10：00～10：40 | 参加者数 3名 |
| ● 2回目：11：30～12：10 | 参加者数 4名 |
| ● 3回目：13：00～13：40 | 参加者数 7名 |



◎「美・緑なかいフェスティバル」において、ノルディック・ウォークの体験エリアを設置

◎なかい里都まちCAFÉにて無料で貸し出している「ノルディック・ウォーキング用ポール」の利用件数は、月平均10件程度。

<傾向>

- ・土日に利用する方が多い。
- ・家族数名で借りるパターンもある。
- ・同一人物の利用が多い。
- ・町外利用者が多い。（茅ヶ崎市、平塚市、秦野市、二宮町、小田原市、藤沢市、大和市）

《課題》

- ・土日に来園した家族にいかにかPRができるか。
- ・町民にノルディック・ウォークを認知してもらえるか。
- ・町外利用者に中井町（中央公園）でノルディック・ウォークを行えることを知ってもらえるか。
- ・口コミでどれだけ広げてもらえるか。

5. 中井町スポーツ推進計画に係る実施状況調査

平成29年3月に策定した「中井町スポーツ推進計画」の着実な推進を図ることと、計画に掲げた基本目標を達成するために、庁内の関係課に事業の達成度や課題を調査。

- 【基本目標】
1. 「元気なまち」
 2. 「快適なまち」
 3. 「健康長寿のまち」

<取組状況>

※ 自己評価基準：5＝事業実施・十分達成 4＝事業実施・おおむね達成
3＝事業実施だが不十分 2＝未着手だが検討開始 1＝未着手・未検討

- ・全 20 事業における担当各課の取組状況における自己評価の結果は、5 = 事業実施・十分達成が 3 事業、4 = 事業実施・おおむね達成が 15 事業、3 = 事業実施だが不十分が 2 事業、未着手の事業はなかった。
- ・自己評価点の平均は 4.05 点で、事業を実施し、かつおおむね目標が達成されている結果であった。
- ・事業を実施したが、目標達成には不十分であるという自己評価が 2 事業（キッズサイクルフェスティバル、まちづくりパートナー制度）あることから、これらの見直しを図る必要がある。

6. 里都まちスポーツプロジェクトの目標と成果

<p><交流人口の増加> 目標：スポーツ関連イベント参加者数 1,500 人／年</p>
<p>平成 28 年度から開催しているノルディック・ウォーク教室及びキッズサイクルフェスティバルにより、交流人口が大幅に増加。昨年度実績で、前者は 51 人で後者は 700 人が参加している。昨年度のスポーツ関連イベント参加者数の合計は 1,701 人となった。</p>
<p><スポーツ実施率の増加> 目標：町民のスポーツ実施率 50%</p>
<p>ノルディック・ウォーク教室及びキッズサイクルフェスティバルを新たに開催することで、スポーツを実施する機会を創出。また、なかい里都まち CAFE でノルディック・ウォーキング用ポールを無料貸出することで、ノルディック・ウォークを気軽に体験できるようにした。加えて、里都まちぷらっとスポーツでは、スポーツの範囲を限定せず軽運動や遊びまでを活動の対象と捉え、中井町に合った総合型スポーツクラブの形成を図っているため、クラブが誕生すればスポーツ実施率も増加する見込みである。</p> <p>(アンケート調査を実施していないため、現状の実施率は不明)</p>
<p><総合型地域スポーツクラブの創設></p>
<p>創設までには至っていないが、今年度中に何かしら形とすることを目標としている。これまでに 6 回開催した勉強会を通して、初めは限られたスポーツ・文化団体の方々が参加者であったが、輪が広がり「里都まちぷらっとスポーツ」という組織を作るまでに取組みが進んだ。自主的に活動しようとする熱意ある町民の発掘が進んでいる。</p>

7. 課題と対策

【里都まち♡なかいキッズサイクルフェスティバル】

課題 2年間実施してきたキッズサイクルフェスティバルについては、多額の経費を要しており、今年度も250万円の予算を計上している。当該イベントに対しては、「交流人口の増加という視点では、町外・県外から多くの方が参加している」「新しいスポーツの体験ができる」「参加者に好評」という評価がある一方で、「金銭面での負担が大きく、主催者を民間に移しての継続も困難」「一部の子ども・親のための競技になっており、皆のスポーツとは言い難い」という課題がある。

⇒「現状のランニングバイクを活用しつつ、より町民等の参加が図れる事業内容を検討する」「既存の別サイクルイベントとの連携を検討する」など他の手法を模索し、持続可能な事業となるように見直しを図る。